

議事 1

第 1 回検討委員会の振り返り

実施概要

■実施日・実施場所

- ・日時：令和3年6月17日（木）15：00～16：30
- ・場所：久慈市観光交流センター やませ土風館 1階 多目的ホール及びZOOM WEB会議

■議事内容

議事1：本事業と検討委員会の設立について

- ・本事業の背景,目的（地域的意義,政策的意義のおさらい）
- ・事業内容とスケジュールの確認

議事2：ゾーニング実証事業について（振り返り）

- ・得られた成果の確認（保全エリア及び調整エリアの設定,ワークショップの実施）
- ・課題の整理（導入目標,詳細な現況把握,導入可能性と漁業調整との双方最適化）

議事3：令和2年度の実施状況

- ・現地調査の実施（鳥類,魚類,海象について冬季調査を実施）

議事4：令和3年度の計画

- ・現地調査の実施（鳥類,魚類,海象,海底地形・地質調査を実施予定）
- ・導入可能性量とCO₂削減効果の算出について
- ・「地産地消」に向けたビジョンの具体化について
- ・漁業との協調の具体化について
- ・環境影響評価の迅速化に資する検討について

ご意見と対応方針（1/2）

項目	ご意見	対応方針
事業のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> 将来、洋上風力の電力を使用することで地域の産業がメリットを感じるように検討していく必要がある。 漁業協調も大事なテーマであり、双方メリットを感じてもらえるような取り組みとして、例えば情報提供や養殖事業への優先的供給など協力関係が重要と考える。 漁業との協調の中で、持続的な漁業の内容に具体性をもって将来像を設計するとはよいのではないか。 例えば、洋上風力の設置により漁船が侵入できない領域が形成され、主要漁獲魚種のマコガレイやタラなどの産卵場が保全され、将来的な漁獲が期待できるのではないか。 風車の設置により漁業ができる範囲が狭くなるという説明ではなく、産卵期の魚類の保護、海洋保護区（MPA）の役割を担うということも一つの方法である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にはFIT売電であるが、地域電力による供給を考えているので、そのように検討していきたい。 この事業で得られた成果も共有し、メリットになることをどのように提供できるか引き続き検討する。 そのように事業を進めたいと考える。事業者と漁業者の双方に利益が生じるようにするのが重要なミッションである。 今後も漁業者とコミュニケーションをとっていきたい。隣接する県の漁業者や、全国規模で活動している漁業者からも理解を得ていきたい。

ご意見と対応方針 (2/2)

項目	ご意見	対応方針
調査・影響の検討について	<ul style="list-style-type: none"> 産卵期を明らかにするため、冬季の産卵状態を評価してはどうか。漁獲した魚の生殖腺を調べることで、産卵場になっているか調べることができる。 漁業者との協力体制のもと検討するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬季はROV調査は難しいと考える。漁業者への聞き取り等で実施していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 魚群への洋上風力による影響について、マダイが反応するという研究がある。 この地域のマダイの漁獲についてはまとまったデータがなく難しいが、念頭に置いておくことで、後々対応できると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査計画・結果のとりまとめ等に反映する。
	<ul style="list-style-type: none"> 鳥類調査について、専門家と情報交換をして実施して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ゾーニングに引き続き専門家に指導・助言をいただく。
	<ul style="list-style-type: none"> 景観や地域住民についても検討する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 景観はゾーニング事業の際、検討しているため、今後、設置場所が絞られたときに再検討を考える。 また、地域住民とのコミュニケーションは非常に重要だと認識している。ポスター展示、アンケートなど、可能な限り情報開示し意見収集を行いたい。